

事業報告書

令和2年度

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

学校法人・大東学園

1. 法人の概要

〔名称〕 学校法人 大東学園(昭和41年3月31日法人設立)

〔所在地等〕 大阪府大東市西楠の里町15-1

電 話 072-877-0164

フ ァ ッ ク ス 072-878-1617

ホ ー ム ペ ー ジ <http://www.aishinyouchien.net>

メ ー ル ア ド レ ス aishin-youchien@cocoa.ocn.ne.jp

〔役員等〕 理事長 中村 喜代野

理事6名(理事長含む) 評議員13名 監事2名

理 事 会 }
 } 年2回以上開催
評 議 員 会

5月に決算と、3月に予算に関する理事・評議員会を開催致しました。補正予算についても公定価格の加算認定等により、3月に行いました。

〔設置する学校〕

愛真幼稚園 (昭和41年3月31日設置)

平成27年4月1日「幼稚園型認定こども園」として認定

(令和2年5月1日 現在)

<定員> 3才児 6クラス 150名 4才児 7クラス 245名
5才児 7クラス 245名 合 計 20クラス 640名

利用定員 1号 3才児 80名 4才児 95名 5才児 95名 合計 270名
2号 3才児 13名 4才児 13名 5才児 13名 合計 39名

<実員> 満3才児 1クラス 0名 3才児 5クラス 85名
4才児 4クラス 88名 5才児 4クラス 89名
合 計 14クラス 262名
満3才児 令和3年1月始業日現在 2クラス 30名

<教職員数> 33名

(教員の部) 園長1名 副園長主幹教諭1名 主幹教諭1名
教諭18名 養護教諭2名

(職員の部) 事務長1名 事務職員2名 環境整備1名
バス運行管理2名

(非常勤) 教諭4名 配膳員1名 (内 専任化代替教諭2名)

(嘱託の部) 園医5名 薬剤師1名 キンダーカウンセラー1名

2. 事業の概要（令和2年度愛真幼稚園の概要）

〔教育方針〕

本園の持ちうる自然環境のもと、あそびを中心とした生活を送り、こどもが主体的に活動する中で、人との関わり、やさしさ、思いやり、忍耐、努力、時間のけじめなど、いろいろな経験を重ね、身につけることで、自己肯定感も持てるようにし「生きる力」の基礎を育てることを目指している。

こどもひとりひとりをよく見つめて、幼児期にふさわしい生活、あそびを通して総合的な指導を目指して、「心身ともに健康でたくましく」「全てのものを慈しみ思いやれる」「自分の思いや感じたことを素直に表現できる」「自分の考えたことを行動に移し最後までやりとげる」「人とのかかわりの楽しさがわかり大切にできる」子どもを育てたいと考えている。

本園には年齢にあった保育計画があり、各月のねらいに添って担任が毎日の設定保育の内容を計画し表現力や言語力、運動能力を友だちと一緒に活動するなかで無理なく個々の力をのばすようにし、学年全体の活動や異年齢がかかわれる縦わりの活動も大切にして、喜んで登園でき、自ら育っていく力（生きる力）を促す保育を展開している。幼稚園教育要領に示された幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を育てるよう保育計画を立てたり、意識して一人ひとりとかかわりを持ち、幼児教育修了時には夢と希望と意欲を持った新1年生として送り出すことを方針としている。

〔保育時間〕

- ・月～金曜日：午前9時30分～午後2時
- ・月2回弁当持参、他 給食
- ・預かり保育（月～金曜日 午前8時～午前9時30分 午後2時～午後7時）
長期休業時（月～金曜日 午前8時～午後7時）
通常休業日（主に土曜日）（年間22日間 午前8時30分～午後5時30分）

〔諸経費〕

- ・利用料 保護者の居住地の自治体が所得等により決定する。
R元年10月より無償化。
- ・特定保育料 H29年度入園の満3才児とH30年度入園児より月額3600円
- ・行事費 遠足 一泊保育 実費
- ・入学検定料 3,000円（1号のみ）
- ・給食費 （1号）@330円／1食 （2号）@330円／1食
（但し、副食免除制度あり）
- ・バス協力費 申込一時金 4,500円
月利用協力費 3,000円 H29年度入園の満3才児とH30年度入園児より
- ・預かり保育 早朝保育 100円
通常保育 300円（午後2時～午後5時）
延長保育 100円（午後5時～午後6時）
150円（午後6時～午後7時）
長期休業保育 100～950円
通常休業日 500～1000円
2号園児は延長のみ市が別に料金設定をしている。
1号児の内、就労者に対し平日預かり保育の一部還付制度がもうけられた。（新2号児）

〔情報公開〕

- ・本園ホームページに下記の内容について公開致しました。
 - ・令和元年度事業報告書
 - ・令和元年度計算書
 - ・令和元年度監査報告書
 - ・令和元年度自己評価・学校関係者評価

〔諸行事〕

- ・ 4 月 始園式、保護者面談（電話で）、誕生会（毎月）
- ・ 5 月 臨時休園・分散登園
- ・ 6 月 入園式、誕生会（毎月）
- ・ 7 月 七夕飾り、個人懇談
終園式、たのしみいっぱい保育（年長）
- ・ 8 月 夏季保育
- ・ 9 月 始園式、避難訓練
- ・ 10月 お月見会、運動会、歯・内・耳鼻・眼科検診
- ・ 11月 園外保育（年長）、園外保育（年中）
- ・ 12月 造形展、もちつき、クッキー作り（年長）
避難訓練（大東四條曙消防組合）、クリスマス会、個人懇談、終園式
- ・ 1 月 始園式
- ・ 2 月 生活発表会、体験入園、お別れ遠足（年長）、節分
- ・ 3 月 小学校見学（年長）、避難訓練・ひなまつりの集い、修了式、卒園式

<保育>

新型コロナウイルス感染症拡大予防として4月～6月は臨時休園や分散登園となり、全園児が登園する通常保育ができるようになったのは6月15日からで、1学期はクラスのお友だちや先生と楽しくすごせるようになった頃、夏休みとなってしまった。

2学期からも感染症対策としてマスクを着けること・三密をさけることや消毒をすることなどが必要となり、いろいろなことを考慮しての保育をしなければならなかった。

行事の計画においても参加人数などを考えて行ったのでクラス単位の活動が主になった。子どもたちの安全を考えた活動であったが一年通して合同保育や合同体育など学年全体で動くことや園全体での活動はできなかったのも、子どもたちの育ちの中でも大きな集団でこそ経験できることができなかったことはとても残念であった。

<施設・設備>

本年は施設部分において、最近の家庭状況などの変化で、子ども達が和便器を使用しなくなり、待っている間に間に合わなくなったりすることが多々見受けられ、本館の和便器をひとつ残して洋便器に交換を致しました。ただ小学校では和便器があるため使用練習の意味を込め、新館の一部分残した。

設備部門ではローラー滑り台を修理したところ、全てのローラー交換と踊り場の木部取替、及び塗装にて耐用年数がのびたため、新規取得とした。また施設強化加算の利用をし、停電時に使用できるソーラー電源設備を追加した。その他は、本館2階への外階段、床、手すりパネル等を修繕した。

<財務状況>

本年の新入園児の受付状況を見ると徐々に園児減が感じ取れる。その中で認定こども園の特徴を再度考えていかねばと思っています。

本年は給付金や補助金等が増え、事業活動収支において174万円の支出増というふうには、以前と比較するとずいぶん良くなりました。そして本年はローラー滑り台の当初分の基本金取崩しも含め一時的なものですが、当年度収支差額が、58万円程プラスになりました。

まだまだ施設設備の修理、更新があり厳しい状況ではありますが、事業を進めていきたく思っております。

以上